

耕作放棄地解消に向けた取組

—土砂崩壊防止機能—

関谷醸造株式会社



酒米の田植

離農者の増加により耕作放棄地が増えていく危機感から、地元の酒米を多く使ってきた酒造会社「関谷醸造」は、名倉地区の農地を借り入れて酒米づくりを開始。農業体験や酒造りなどのイベントを開催し、耕作放棄地の解消や都市・地域住民との交流を図るとともに、従業員の年間雇用にも繋がっている。



愛知県設楽町



9月の「収穫祭」（稲刈り体験）

〔土砂崩壊防止、景観の保全〕

耕作放棄地を借り上げて酒米を作付けすることにより、里山の景観を保全している。また、地元農家の協力により、作付け面積も増やし、耕作放棄地の解消に繋がっている。

〔保健休養、地域社会の振興、体験学習と教育〕

平成19年から開始した酒米の田植や稲刈り、酒造り体験の実施により、地域及び都市部の住民との交流を図っている。



町内の耕作放棄地を借り入れ酒米を栽培（収穫風景）



酒造り



毎年11月に「酒造り体験」を開催



自社栽培の酒米「夢山水」
で造った純米大吟醸